

会計事務所の報酬に関するデータ

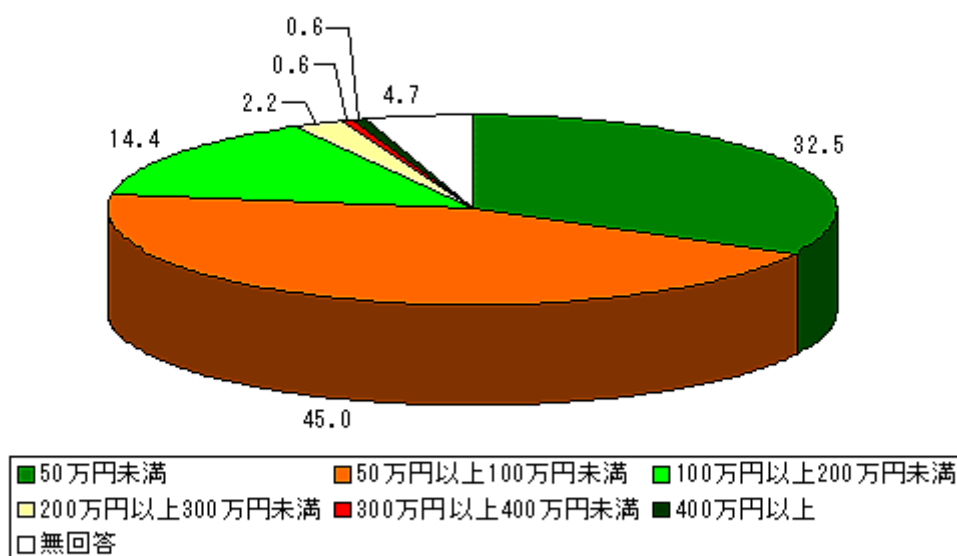
知りたいけれど、実態がなかなか把握できないデータの一つといえる、会計事務所が受け取る報酬に関するデータ。

ここでは、官庁のアンケート調査結果から、中小企業が会計事務所（税理士や公認会計士等）に支払う年間の報酬額に関するデータをご紹介します。

中小企業が会計事務所に支払う年間の報酬額

平成20年7月に中小企業庁が発表した、「会計処理・財務情報開示に関する中小企業経営者の意識アンケート調査結果」(*)から、中小企業が会計事務所（税理士や公認会計士等）に1年間に支払う報酬額に関する調査結果をまとめると、以下のようになっています。

中小企業が会計事務所に支払う年間の報酬額（単位：％）



中小企業庁「会計処理・財務情報開示に関する中小企業経営者の意識アンケート」より作成

上のグラフから、中小企業が税理士や公認会計士等に支払う年間の報酬額は50万～100万円という回答が最も多くなっています。次いで50万円未満が多くなっており、この2つをあわせると、全体の77.5%に達します。

会計事務所が企業から受け取る報酬の額や形態は事業者によって異なりますが、この結果を見る限り、実際の金額は50万円～100万円という価格帯が最も多くなっていることがわかります。

この結果について、皆様はどのように感じられるでしょうか。

(*) 平成20年2月に建設業、製造業、運輸・倉庫・運輸業、卸売業、小売業、飲食業、不動産業、サービス業の中小企業を対象に行われた調査です。有効回答は4569件となっています。詳細は中小企業庁HPを参照ください。